

令和7年度下半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	日光児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市日光町9丁目1番3号		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	15,107,000 円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建のうち1階の一部 ◇敷地面積:3,001.55㎡ ◇延床面積:370.16㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、集会室、事務室、 駐車場(日光コミュニティセンター駐車場と共有) ※日光コミュニティセンター、日光事務所との合築		

●利用状況

		R7 下半期	R7 上半期	R6 下半期	R6 上半期	R5 下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	12,016	13,196	11,251	12,479	11,733
	移動児童館利用者数	563	480	263	260	244
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※12(5)	※8(3)	※11(5)	※8(3)	※9(4)
	開館日数(単位:日)	151	156	151	154	151

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①計画通り実施しました。 ②所長1名、職員2名、パート職員1名の4名を配置しました。 (うち保育資格3名 教員資格1名 児童厚生員3名) ③「児童用おたより」の発行-16か所に配布しました (小学校5校区、幼稚園、保育所、中学校、特別支援学校、コミュニティセンター) 「幼児用おたより」の発行-11か所に配布しました。(幼稚園、保育所、中学校、特別支援学校、コミュニティセンター) ホームページはスマートフォンにも対応し、市民の皆様へのお知らせやブログも用いてタイムリーで分かりやすく配信しました。 また、当岐阜市社会福祉事業団が管理している他の8施設のホームページとリンクを貼り、他館の情報も入手しやすくしました。 気象警報発令時などの情報は、迅速にホームページにUPしました。 ④ご意見箱を設置し利用者からのご意見・ご要望をいただける体制としました。また児童・保護者を対象にアンケートを年2回実施しました。(下半期1回) 苦情・クレームについてはマニュアルに従って対応しました。 意見・アンケート調査結果は館内に掲示するとともに、改善できるものは迅速に対応しました。 また、日頃から利用者とコミュニケーションをとり、話しやすい雰囲気作りを心がけました。 ⑤仕様書・事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負	①管理者点検マニュアルにもとづき保守点検を適切に実施しました。 ②幼児室に口に入れた物を入れる箱を作りアルコール消毒を実施しました。トイレの便座、洗面所を1日1回アルコール消毒を実施しました。 就労継続支援B型事業所清掃班による清掃を実施しました。

	<p>荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理</p>	<p>業者による窓ふき・ワックスがけを行いました。 ③未使用の部屋の電気、エアコン等スイッチを切り、適切な温度設定、フィルター清掃などを行い節電に努めました。また、ペットボトル及び牛乳パックなどの廃材を事業に活用するなど環境に配慮した施設運営に心がけました。 おもちゃや本の寄付があり、きれいにしてリサイクル活用しました。 ④月1回の職員による施設の安全点検・遊具点検、月2回のAED器具の機能確認、毎日の消毒、清掃を行い、遊具、玩具、設備、備品の維持管理に努めました。</p>
<p>施設修繕</p>	<p>下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備</p>	<p>①緊急性のあるものは、岐阜市社会福祉事業団事務局及び岐阜市に即時報告して判断を仰ぎました。また日頃から職員が点検を行いました。 ②大規模な修繕については指定管理者(本部)並びに岐阜市に要望を提出しました。 故障した玩具などはおもちゃ病院に修繕していただきました。</p>
<p>危機管理 法令遵守</p>	<p>①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守</p>	<p>①、②、③岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程、災害対策マニュアル、児童福祉法等関係法令を遵守し適に実施しました。 災害や事故等が発生した場合には、岐阜市社会福祉事業団事務局並びに岐阜市へ迅速に報告する体制を構築しました。 個人情報が記載された用紙は厳重に管理し、使用后シュレッダー処理を行い個人情報の漏洩防止を徹底しました。 消防訓練を2回実施しました。 12月にコミュニティセンターと日光事務所と利用者合同で行いました。 3月に児童センターと利用者で行いました。 職員間で災害に対しての話しをし、利用者に安全に利用していただけるよう確認を行いました。</p>

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況及び実施結果</p>	<p><保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート></p> <p>【期間】 令和7年 12月 2日 ~ 令和8年 1月 31日</p> <p>【回答者数】 100人</p> <p>【校区】 則武: 25人 早田: 16人 島: 16人 城西: 13人 長良西: 4人 鷺山: 4人 長良: 3人 芥見: 2人 (無回答有) その他市内: 14人 その他市外: 1人 記入なし: 2人</p> <p>【年齢】 10代: 0% 20代: 8% 30代: 56% 40代: 22% 50代以上: 13% 記入なし: 1%</p> <p>【評価】</p> <table border="0"> <tr> <td>(あいさつ)</td> <td>満足: 94%</td> <td>ほぼ満足: 5%</td> <td>普通: 1%</td> <td>やや不満: 0%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> <tr> <td>(言葉づかい)</td> <td>満足: 95%</td> <td>ほぼ満足: 4%</td> <td>普通: 1%</td> <td>やや不満: 0%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> <tr> <td>(利用者対応)</td> <td>満足: 88%</td> <td>ほぼ満足: 9%</td> <td>普通: 1%</td> <td>やや不満: 1%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> <tr> <td>(利用しやすさ)</td> <td>満足: 88%</td> <td>ほぼ満足: 9%</td> <td>普通: 3%</td> <td>やや不満: 0%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> <tr> <td>(整理整頓)</td> <td>満足: 84%</td> <td>ほぼ満足: 11%</td> <td>普通: 4%</td> <td>やや不満: 1%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> <tr> <td>(清潔感)</td> <td>満足: 87%</td> <td>ほぼ満足: 8%</td> <td>普通: 3%</td> <td>やや不満: 2%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> <tr> <td>(換気)</td> <td>満足: 85%</td> <td>ほぼ満足: 11%</td> <td>普通: 3%</td> <td>やや不満: 0%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> </table> <p>無回答: 1人</p> <p><小・中・高校生用アンケート></p> <p>【期間】 令和7年 12月 2日 ~ 令和8年 1月 31日</p> <p>【回答者数】 100人</p> <p>【学年】 小学: 1年 7人 2年 17人 3年 24人 4年 16人 5年 7人 6年 14人 中学: 1年 6人 2年 2人 3年 1人 高校: 1年 5人 2年 0人 3年 0人 その他: 1人</p> <p>【学校名】 則武小 41人 早田小 22人 島小 6人 城西小 5人 その他市内 26人 その他市外 0人</p>	(あいさつ)	満足: 94%	ほぼ満足: 5%	普通: 1%	やや不満: 0%	不満: 0%	(言葉づかい)	満足: 95%	ほぼ満足: 4%	普通: 1%	やや不満: 0%	不満: 0%	(利用者対応)	満足: 88%	ほぼ満足: 9%	普通: 1%	やや不満: 1%	不満: 0%	(利用しやすさ)	満足: 88%	ほぼ満足: 9%	普通: 3%	やや不満: 0%	不満: 0%	(整理整頓)	満足: 84%	ほぼ満足: 11%	普通: 4%	やや不満: 1%	不満: 0%	(清潔感)	満足: 87%	ほぼ満足: 8%	普通: 3%	やや不満: 2%	不満: 0%	(換気)	満足: 85%	ほぼ満足: 11%	普通: 3%	やや不満: 0%	不満: 0%
(あいさつ)	満足: 94%	ほぼ満足: 5%	普通: 1%	やや不満: 0%	不満: 0%																																						
(言葉づかい)	満足: 95%	ほぼ満足: 4%	普通: 1%	やや不満: 0%	不満: 0%																																						
(利用者対応)	満足: 88%	ほぼ満足: 9%	普通: 1%	やや不満: 1%	不満: 0%																																						
(利用しやすさ)	満足: 88%	ほぼ満足: 9%	普通: 3%	やや不満: 0%	不満: 0%																																						
(整理整頓)	満足: 84%	ほぼ満足: 11%	普通: 4%	やや不満: 1%	不満: 0%																																						
(清潔感)	満足: 87%	ほぼ満足: 8%	普通: 3%	やや不満: 2%	不満: 0%																																						
(換気)	満足: 85%	ほぼ満足: 11%	普通: 3%	やや不満: 0%	不満: 0%																																						
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>・案内がなかった。 ⇒せっかく遊びに来ていただいたのに悲しい思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。初めて来館していただいた方には、館内のご案内、児童センターの利用の仕方などの説明を心がけて対応しておりましたので、「案内がなかった」という意見をいただき、私たち職員も本当に申し訳なかったという気持ちです。今後こういうことが無いよう職員間で話し合いをし、今以上に利用者の皆さん一人一人に丁寧な対応を心がけて行くことを確認いたしました。次回お越しの際、声をかけていただけたらうれしいです。これからも利用者の皆さんの意見を受け止め温かい児童館を目指していきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>・おもちゃを片づけない人がいる。 ⇒こちらの案内不足でご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。「おもちゃさんをお家に帰してあげよう」など子どもにもわかりやすい案内を掲示したり、写真や絵を貼り具体化したりしておもちゃが片づけやすい環境になるよう検討してまいります。</p>																																										

・トイレの便座が温かいといいなと思います。トイレ中の2歳が公園の冷たいトイレではしてくれずがまんするので、児童館のトイレが温かいともっといいなと思います。
⇒ご不便をおかけして申し訳ありません。お母さまがおっしゃられる通り便座が温かいと子どもさんは使いやすいですね。施設の修繕になりますので市に要望してみます。

・どの学年、年齢であっても楽しく遊べるゲームを考えてほしい
⇒ご意見ありがとうございます。みんなの意見を参考にいろいろ楽しい行事を増やしていけたらと思いますので、ぜひどんな行事がやりたいか教えてもらえると嬉しいです。一緒に楽しい遊びを考えていきましょうね。

●指定管理者の選定基準に基づく評価(日光児童センター)

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	S	S	S
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S
		区分評価				S
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者のニーズ、苦情の把握 ・利用者のニーズ、苦情、クレームへの着実な対応・運営への反映	S	S	S
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	S	S	S
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体力増進指導に関し知識技能を有する者)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	S	S	S
		区分評価				S
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>利用者アンケートの実施(公平性・透明性①)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数:1回(12月～1月に実施) 独自にアンケート項目を増やし実施 ①児童館はお子さんや保護者の方にとってどんな場所ですか(保護者) ※保護者用アンケート⑨参照 ②クラブでどんなことをやりたいですか(保護者) ※保護者用アンケート⑬参照 ③児童館のルールでかえたいところはありますか(児童) ※児童用アンケート⑬参照 ・保護者用(100名)(再掲①④) (別紙①参照) <p>今期も幼児クラブの保護者だけでなく、一般利用者(幼稚園児・保育園児・小学生の保護者など)にもアンケートを実施しました。より多くの利用者からアンケートをいただくことで、幅広い層からさまざまなご意見・ご要望をいただくことができました。</p> <p>アンケートの結果として児童館が安心して楽しく遊べる場所であることをとても嬉しく思います。これからも皆様に満足していただける児童センターになるよう努めて参ります。またどの意見も真摯に受け止め、改善できることは素早く対応していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童用(100名)(再掲①④) (別紙②参照) <p>アンケートの結果として「居場所作り」ということを意識しなくても子どもたちにとって児童センターは日常的に利用でき、安心な場所であることがわかりました。地域に溶け込み誰もが気軽に来られる存在でいられるよう、これからも子どもたちとの関りを大切にし、遊びを通して成長できるよう支援していきたいと思っております。</p> <p>またどの意見も真摯に受け止め、改善できることは素早く対応していきます。</p> <p>当委員会の開催 実施回数:上半期1回 (内容等記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度事業報告 ・令和7年度運営方針・事業内容 ・校区别交流会 ・意見・要望等交換会 ・熱中症対策について ・移動児童館について ・地域の問題点について <p>自転車に乗る時のヘルメット着用 道路の渡り方 校区外へ出かける 夜間外出 学校・地域で解決策を考え対応していく。 (城西小学校校長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもスタッフや子ども企画に参加している子どもを教えてほしい。学校以外のこどもの姿を認めていきたい。 <p>委員長(則武小学校校長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童センターには大きな役割があり、価値がある。居場所がない子、親同士をつながりがない子、友だちがいない子、共働きで日中親がいない子、またこの時期暑くて公園で遊べないなど。子どもたちを担う役割が大きい。児童センターは学校が知らない情報を知ってみえるので情報共有をして連携を取ると良いと思います。いろんな立場で子どもたちを支えることが大切だと思います。運営委員のみなさんも児童センターへ来たことがきっかけで、児童センターと関わりを持ち、子どもへの関りにつなげていくと良いと思います。 <p>副委員長(則武自治連合会会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日光児童センターに何度か顔を出すことでセンターの役割や立ち位置が理解できました。運営委員会に鷲山が入っているか疑問だったが、センターの役割が活用されていることと、交流を深めていきたいということがわかりました。今回運営委員会に参加し一番得をしているのは清流中学校なのではと思いました。小学校→中学校→センターという様につながっていると思います。子どもたちには小学校でも中学校でもない場所が必要。今後とも子どもたちのためにできることを児童センターと共有しながら進めていきたいと思っております。 <p>広範で適切な情報提供・広報活動の実施(公平性・透明性②)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム・小規模多機能「ふるさと」・柴橋市長・読み語りルンルン <p>児童センターの交流事業(再掲②③⑥⑬)</p> <p>児童センターに来ている子どもたちが「ふるさと」の子ども食堂を利用していることがきっかけになり交流が始まりました。「読み語りルンルン」の講師による読み語りや歌、子どもたちによる絵本の読み読みの共同企画イベントが実現しました。打合せ段階で市長さんが訪問されるということがわかり、市長さんも読み語りに参加され、3世代の交流や地域との連携を図ることができました。また、地域の方も多く参加されていたので児童センターのPRにもなりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市が発行する「エトコタント」に日光児童センターが掲載 <p>利用者家族の写真・インタビューなども載っていて大きく取り上げられました。「エトコタント」を見て始めて来館された方がみえ、児童センターのPRになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回・第3回 則武小学校学校運営協議会に参加(再掲②④⑭⑮) ・第2回・第3回 岐阜清流中学校運営協議会・支援推進委員会に参加(②④⑭⑮) <p>委員の皆さんに児童センターを知ってもらえる機会になりました。また学校運営に携わり、地域との連携が子どもたちを育むためにとても大切だということを改めて思いました。児童センターは子どもたちの大切な居場所であることを認めてもらえているので、これからも役割をしっかりと果たせるよう取り組んでいきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城西フェスティバルに参加(②⑭⑮) <p>缶積みコーナーを担当し地域の方と交流を深めることができました。児童センターを知らない方も見えたのでPRがで</p>
--------------------------	---

きとても良かったと思います。地域の活性化に貢献することができました。

・城西小学校2年生生活学習地域の公共施設の見学(②⑬)

・則武小学校2年生生活学習地域の公共施設の見学(②⑬)

児童センターの活動紹介・ゲームや工作などを行い児童センターの楽しさを伝えました。

・Instagramによる広報宣伝活動(再掲②⑤⑥)

Instagramを導入したことにより、多様な手段で幅広い年齢層に、スピーディーに情報を提供できました。動画や音楽などを活用し、より親しみやすいInstagramを提供することができました。下半期投稿回数90—フォロワー241人

・全児童館・児童センターの案内をおたよりに掲載(再掲②⑥)

毎月発行している乳幼児と保護者向けおたよりの裏面に、岐阜市内すべての児童館・児童センターの所在地を地図上で掲載しました。これにより、普段利用している児童館以外の児童館を知っていただくきっかけとなりました。

・「ツナグテ」利用者へのPR(再掲②⑥)

毎月発行するおたよりに「ツナグテ」のチラシ受けに置いていただき、「ツナグテ」の利用者にも日光児童センターのPRを行うことができました。

10部から15部に増やしました。

・4地区合同赤ちゃんクラブでのPR

移動児童館で参加した際、幼児クラブの活動や行事などの情報を提供しました。4地区とは則武・早田・城西・島です。

・おたよりの配布

幼稚園・保育園・小中学校・特別支援学校・コミュニティーセンターなど16カ所

に毎月おたよりを配布し情報を提供しました。

・島校区でのPR・城西校区でのPR・鷺山校区でのPR

親子ふれあい教室や青少年育成市民会議などが主催の移動児童館に参加した際、幼児クラブの活動や行事などの情報を提供しました。

地域で子どもたちが健やかに育つための一端を担うことができました。

・ホームページでの情報提供

ホームページの更新、最新情報を提供しました。

業務改善や工夫(効果性③)

幼児クラブの在り方を見直し改善(③⑤⑥)

事前の申し込み制をやめることによって利用者の負担を軽減し、誰もが平等に参加できるクラブの形に変えました。

・クラブの参加型は変わっていませんが、自分で曜日・活動内容を選んで好きなときに来られるという、利用者の主体性に任せたクラブに変更しました。

当日先着申し込みで行うようにしたことで、個人情報の管理、時間や印刷コストが削減され職員の負担も減り、日々の業務がスムーズになりました。

(見直そうと思った理由)

・遊びに見えた時に幼児クラブを知り、参加したくても申し込みをしていないと参加できない利用者さんが多い。1学期間またないと入れない。

・申し込み制だと定員があるため入れない人が出てくる。

・申し込みをした方の1割～2割の方がお休みされる頻度が高い。

・他の児童館や、幼稚園、保育園のクラブと掛け持ちをされる人がみえるので、1学期間の予定通り参加できないことがある。

・月齢で分けるので、早生まれ(1月～3月)の子は同じ学年の子どもと一緒に活動する時間が少ない。

・お休みの連絡を入れるのが大変だと感じる。忘れていて後で連絡を入れてくださる人もいます。

(変更後のクラブの在り方)

・ベビー・1歳児・2歳児～就園前までの3クラス・定員20名

・参加される人は希望の日に来館し、受付表に記入

・今までは同じ年齢のクラブが2つあり、1学期間の回数が5～6回だったのを1つにして曜日は前回と変えず2曜日で10回の活動に変更した。

・年齢はおおよそなので、保護者の判断で好きなクラブに参加できる。

・月齢によっては保護者の判断で2クラブ参加しても良い。(例—1歳11ヶ月の子が1歳児クラブ・2歳児以上クラブ両方)

・回数に縛りがないため何回参加しても良い。

(結果)

・遊びに見えた時に幼児クラブを知り、参加できとても喜ばれました。その後も参加されました。

・申し込み制の時と参加人数はほとんど変わりませんでした。

・当日先着順だったが、入れなかった人は1人もいませんでした。

・事前申し込みではないので定員以上きても受け入れることができました。

・お休みの連絡もいらなし、都合の良い時に来られるので気楽に参加できありがたいと言われました。

・不満や疑問の声は聞かれなかった。

(まとめ)

2学期・3学期もこの形でおこないました。問題点が見えた時は、その都度職員で対応し解決・改善していきます。

・えりちゃんの工作教室—6回(地域講師)(③⑥⑭)

障がいのあるえりかさんが子どもたちと関わりを持ちたいということで、行事を計画し行ってくれました。上半期は折り紙だけでしたが下半期は「さきおり教室」「シール作り」などいろいろな工作を取り入れてくださり、子どもたちに好評でした。今後もえりかさんに依頼し行事を継続していきたい。

・レジンでミニミニキーホルダーを作ろう(地域講師)(③⑥⑭)

地域の方に講師を依頼し開催しました。夏休みに行った際に申し込みが出来なかった子どもや親から「もう一度やってほしい。」と要望があり企画しました。

今回も大人気であったという間に定員いっぱいになりました。
アンケートにも「レジンなどの工作をやってほしい。」と意見がありましたので後期も講師に依頼し開催でき喜ばれました。

・第3駐車場の使用(③⑤)

前回のアンケートに「第3駐車場を使いたい」と意見がありましたので、コミュニティーセンターの所長に相談したところ他の施設が使用しない時は児童センターで使っても良いと許可をもらいました。小さいお子さんがみえる保護者にとっても喜ばれています。

・ぬりえコーナー

児童センターで人気のぬりえコーナーに子どもたちの手作りぬりえを増やしました。31種類になりいろんなキャラクターが増えとても喜んでます。職員が頼んだわけではなく子どもたちが自主的にぬりえにしてほしいと描いてくれるのもとても良いことだと思います。

新しいぬりえがたくさん増え利用者に喜ばれています。

・小・中学生役割分担

児童センターに遊びに来ている小・中学生が児童センターでの役割を自分たちで決めました。

・子ども館長・副館長・子ども遊び係長・おたよりなどのデザイナー・プレゼントを作る人などです。事業を計画・運営し活動しています。

・おみやげコーナーの充実(③⑤④)

障がい者の方が折り紙でたくさんの作品を作り持ってきてくださいます。

利用者にとっても喜ばれています。

・お話を語る会「読み語りルンルン」の時間変更(講師)(再掲③⑥④)

毎月2回 16:00~16:30の時間でしたが、その時間は幼児の参加が少ないので1回を 11:00~11:30に変更し、幼児が参加しやすいよう見直しをしました。幼児も小学生もどちらも絵本の読み聞かせに触れ合う時間を持つことができました。毎回いろんな先生がみえ、30分ほど絵本・大型絵本・紙芝居・手遊び・歌などを企画して

くださいます。語り方も違うし、個性的で楽しい先生ばかりです。読み語りの中に落語を取り入れた月もあり日本の伝統芸能を伝えることもできました。また多種多様な絵本・紙芝居を見ることができるので子どもたちも楽しみにしているし、職員の勉強にもなります。

・ベビータイトに保健師さん参加(③⑤⑥⑬)

0歳児クラスに学期に1回保健師さんに来ていただいています。保護者の方から「保健師さんに相談したいことがある。」「保健師さんに会いたい。」ということを知っていたので保健師さんの見える日を紹介し、無事に相談することができました。また2学期は「災害対策」3学期は「赤ちゃんのスキンケア」のお話を聞くことができました。その後、育児相談をしていただき、育児に悩んでみえる方に寄り添えるよう努めました。

・人気のある小学生行事の開催(再掲③⑥)

人気のある「ドッジボール」「カロム」などの行事を多く取り入れるようにしました。

平日・休日とドッジボールを行いたくさんの子どもが参加しました。

今年度も毎月カロム大会を行い、優勝者を掲示し年間チャンピオンを目指す目標を作りました。チャンピオンを目指して毎日のように練習にくる子どもたちがいました。勝って達成感や成功体験を感じたり負けて悔しい思いをしたりカロムという遊びからいろんな学びを体験していると感じました。

・将棋で遊ぼうの開催(地域ボランティア)(再掲③⑥④)

今年度も地域の方に先生にお願いして、毎週1回将棋を教えていただきました。毎回保護者の方が送り迎えをしてくださり参加する子・将棋の本をもって来る子など児童センターに将棋を目的に来る子が増えました。女の子も来てくれます。

地域の方とのつながりを大切に、これからも地域の方やボランティアと一緒に子どもたちを見守っていきたく思います。

・地域の方や大学生のお兄さんに勉強を教えてもらおう12回(地域講師)(③⑥④)

以前のアンケートに「平日勉強を教えてもらえると嬉しい。」という意見がありました。毎月日曜日に大学生のお兄さんに勉強を教えてもらっていますが、平日は無かったので地域の方にお願いし、毎月2回勉強会を実施しました。毎回小学生から中学生の子の参加があります。親さんの送迎で来てくれる子もいます。保護者からも「塾に入っていないのでとても助かります。」と言っています。また「子どもに勉強を教えたいので」と言われ保護者の方が何回も参加されていました。勉強会が定着し、必要としている子が増えてきたので学習支援の見直しをし、これからも講師に依頼し定期的に行っていきたく。

・リユースの取り組み(再掲③⑨)

おもちゃや本の寄付があり、きれいにして使用しています。寄附していただく物はとてもきれいで大切に使用されていたことがわかります。「子どもが使っていた物がまたここで子どもたちに使ってもらえて本当にうれしい」と言われました。子どもたちや保護者の方からも「新しいおもちゃがある」と、とても喜んで使っていただいています。

新規事業(行事)等の実施(効果性③)

子どもたちの主体性を生かした新規事業の開催

・あきまつり(再掲②⑮)

子ども自身が主体となってイベントの内容を考え、アイデアを出し合い、自分たちでやりたいことを実現していくあきまつりになりました。たくさんの子が参加し大盛況でした。

・バトミントン大会

城西小学校6年生子ども遊び係長の男児 T 君が企画 賞状を作り表彰式を行ってくれました。

・キックベースで遊ぼう

則武小学校6年生女児子ども副館長 M さん H さんが企画し行事を行ってくれました。

・イラストコンクール2回

則武小学校4年生女児 M さんが企画し、行事を行ってくれました。

・マンカラで遊ぼう

岐阜清流中学校1年生 K さんが企画し、行事を行ってくれました。

・日曜バイトの先生の卒業式(大学卒業なのでバイトをやめるため)

子ども副館長、子ども遊び係長が中心となり、お世話になった大好きな大学生のお兄さんの卒業式を行いました。小学生・中学生も参加し楽しく感動的な卒業式になりました。

(子どもたちの主体性を生かした事業をやってみて)

・自分たちの意見を自由に言えて、それを形にできるという経験は子どもの主体性や創造性に繋がっていくと感じました。イベント終了後は達成感や協働力、コミュニケーション能力が育まれていくと感じました。職員は安全面について考えたり、予算の中でできるように考えたり、時にはアドバイスやサポートをしながら子どもたちを見守るようにしていました

・グループホーム・小規模多機能「ふるさと」・柴橋市長・読み語りルンルン

児童センターの交流事業(再掲②③⑥⑯)

・岐阜高校のお兄さんお姉さんに勉強を教えてもらおう4回(地域ボランティア)(再掲③⑥⑭)

児童センターに遊びに来ていた子が高校生になり、学習支援の願いをしたところ快く引き受けてくれました。毎回4、5人の学生さんが来てくれ、子どもたちに勉強を教えてくださいます。プリントもたくさん用意してくれるので、何もなくても参加できます。また毎回工作を考え用意してくれ、勉強の後子どもたちと

楽しく取り組んでいます。また小学生だけでなく毎回中学生も参加し勉強をしています。こうした取り組みを岐阜高校にもお知らせし許可をいただくこともできました。高校生や地域の方にも嬉しい学習支援に取り組むことができているのでこれからも継続していきたい。

・日光紙芝居クラブ4回

ボランティアや職員がサポートに入り、子どもたちが紙芝居や絵本の読み聞かせを練習し幼児さんに読み聞かせを行っています。「読み語りルンルン」の先生にも指導していただき一緒に読み語りをすることもできました。幼児と小学生の関りもできるのでこれからも継続していこうと思います。絵本と触れ合う時間がたくさんもてるようにしていきたい。

・缶積み競争

たくさん空き缶を使い、時間内にどれだけ高く積み上げられるかを競うゲームです。個人戦やチーム戦を行いました。チーム戦では仲間と作戦を考えたり真剣に取り組む姿がみられました。

・簡単工作

毎月簡単に遊べる工作を行事で行いました。幼児さんから参加できるので保護者の方に喜ばれました。また作った後もみんなで遊べ、楽しそうでした。

・岐阜聖徳大学「かっぱの会」のお兄さんやお姉さんと一緒に遊ぼう(③⑥⑭)

岐阜聖徳大学の学生サークル「かっぱの会」に依頼しレクリエーションなどで一緒に遊びました。大学生が思いっきり遊んでくれるので子どもたちは遊びに夢中でした。大学生のお兄さんお姉さんとお話したり、とても楽しそうに過ごしていました。

・新春ゲーム大会

大型トランプを使いチーム戦で遊びました。またビンゴ大会も行い盛り上がりました。

・大なわとび

冬になると人気がある大なわとびを企画しました。実習生も3人参加し盛り上げてくれました。男女年齢関係なくたくさんの子が参加しました。

・赤ちゃんのための救命講習(再掲③⑥⑬)

北消防署の方にお話しベビータイムで実施しました。経験できないことなのでお母さん方から好評でした。

・パパのための救命講習(再掲③⑥⑬)

ベビータイムの救命講習に参加されたお母さんから「パパにも参加してほしい。」という意見をいただいたので北消防署の方にお話し実施しました。土曜日だったのでご家族で参加される方が多かったです。パパもママも真剣に話を聞いて実際に人形を使い体験もしていました。質問もあり充実した時間になりました。

・赤ちゃんのためのベビーサイン(講師)(再掲③⑥⑭)

保護者の方に人気がある講師の方に来ていただきベビータイムでベビーサインを実施しました。お母さん方は赤ちゃんのためにベビーサインを楽しく学んでいました。

・幼児とのふれあい遊び2回(講師)(再掲③⑥⑭)

講師の方に来ていただき年齢別でふれあい遊びを実施しました。

楽しい遊びがたくさんあり、参加者は楽しそうでした。また職員が知らない遊びもあり勉強になりました。

・お母さんのためのからだのセルフケア(地域講師)(再掲③⑥⑭)

講師の方に来ていただきベビータイムで実施しました。普段は自分のからだのセルフケアはできないのでこういう機会があるのは嬉しいという声が聞かれ好評でした。

・ドライヘッドリラクゼーション2回(地域講師)(再掲③⑥⑭)

ベビータイムで「お母さんのためのからだのセルフケア」を実施したときに好評だったので、今回はお母さんが少しの時間でも体や心が癒されるよう企画しました。一緒に来館されるお子さんは職員が保育し、参加されるお母さんにはゆっくりと時間を過ごしてもらいました。気持ちが悪くて寝てしまう方や心が解放され涙を流す方もみえました。この事業を通してお母さん方が癒しの時間を求めてみえること、話を聞いてほしいことがわかりました。子どもだけでなく大人の居場所になるような事業を考えていきたい。

・幼児リトミック2回 赤ちゃんのためのリトミック1回(地域講師)(再掲③⑥⑭)

リトミック講師に来ていただき実施しました。リトミックは毎回人気でたくさんの方が参加されました。

・ミニミニはるまつり母親クラブ共催(地域ボランティア)(岐阜清流中学校フリースペース)(高校生)(岐阜中部学院大学生)(再掲③④⑭⑯)

たくさんの方と協働し実施しました。フリースペースの子たちも積極的にお客さんに関わり楽しそうでした。地域との繋がりがりもでき良かったと思います。たくさんの方に来ていただけ大盛況でした。

・幼児クラブにフリースペースの生徒・高校生参加4回(再掲③④⑭⑯)

岐阜清流中学校の「フリースペース」の生徒たちと高校生の人たちが、幼児クラブのお楽しみ会に参加しお手伝いをしてくれました。フリースペースの生徒たちは、普段から児童センターを居場所として活用しています。担任の先生とこの子たちが少しでもいろんな場所に出かけられるたり、いろんな人と関われる機会を持てるよう支援していこうと話していたので、良い機会となりました。これからも関係を大切に、活動を続けていきたいと思っています。

◎子どもたちの主体的な活動の場、話し合いの機会等の提供を行ったか。

- ・子どもたちの主体性を生かした新規事業の開催(再掲)—7回
- ・日光紙芝居クラブ(再掲)—4回
- ・ミニミニはるまつり
- ・あきまつりにむけこどもたちと話し合い・打合せ・準備などを何回も行いました。

利用者のニーズ、苦情の把握(効果性④)

- ・利用者のアンケートの実施(保護者100人 児童用100人)(再掲①④)

独自にアンケート項目を増やし実施

- ①児童館はお子さんや保護者の方にとってどんな場所ですか(保護者)
- ②クラブでどんなことをやりたいですか(保護者)
- ③児童館のルールでかえたいところはありませんか(児童)

- ・ご意見番の設置
- ・日常対応・会話からの聞き取り

利用者のニーズ、苦情、クレームへの着実な対応、運営への反映(効果性④)

- ・利用者アンケートでのご意見

利用者アンケートでご意見をいただいた内容について、館の運営に反映できるものはすぐに実行・改善しました。

また、実行できないものについては実行できない理由を説明し、ご理解をいただけるよう務めました。

※別紙①②参照

- ・保護者用アンケート(再掲①④)
- ・児童用アンケート(再掲①④)

◎配慮を必要とする子どもへ適切な対応を行ったか。

- ・こどもの居場所づくりの推進(再掲④⑬⑭)

- ・岐阜清流中学校のフリースペースの1つとして活用してもらっています。担当教諭と生徒が遊戯室で体育の授業を実施しています。バドミントン・卓球・バレーボールなどを行っています。
- 10月～3月—54回 利用者数—延べ232人

授業以外でも、居場所として児童センターを利用する子が増えました。事務室で宿題をやったり、職員とおしゃべりしたり、趣味を満喫しています。中には自ら行事のお手伝いをしてくれる子もいます。自由に過ごせることで心が落ち着くようです。平日の夕方や土日にも来ています。学校に説明をした上で家族に許可をもらい、学校帰りに来館する子もいます。

- ・サードプレイスとしての活用(再掲④⑬⑭)

フリースペースの生徒の中に、学校には行けないけど児童センターなら行けるという子たちが居場所としています。学校と情報を共有し見守っています。

またいろんな事情で学校にいけないう高校生も居場所としています。

児童センターがこどもたちを支える場でありたいし、成長をサポートできるような人的環境になれるよう努めていきたいと思えます。

- ・岐阜清流中学校のけやきクラスの子の居場所—25回(再掲④⑭)

心が落ち着かない、イライラする、友だち関係がうまくいかないなどの理由で、校長先生に許可をもらい児童センターに来ている子がいます。職員と話したりゲームやおもちゃで遊んでいます。気持ちをリフレッシュし、学校に戻っていきます。

- ・幼児クラブにフリースペースの生徒・高校生参加(再掲③④⑭⑮)
- ・ミニミニはるまつり母親クラブ共催(地域ボランティア)(岐阜清流中学校フリースペース)(高校生)(岐阜中部学院大学生)(再掲③④⑭⑮)
- ・第2回・第3回 則武小学校学校運営協議会に参加(再掲②④⑭⑮)
- ・第2回・第3回 岐阜清流中学校運営協議会・支援推進委員会に参加(再掲②④⑭⑮)
- ・学校との連携(再掲④⑬⑭)

配慮が必要な児童の様子など小学校や中学校と情報共有し見守っています。則武小の校長先生の携帯番号を教えてください、必要なときは電話やメールで連絡をとれるようにしています。また岐阜清流中学校の校長先生や、則武小学校の校長先生と支援が必要な子どもたちの情報を共有し、見守りました。

これからも、児童館という場所の必要性が地域に広まるように努めていきたい。

- ・事務室をコミュニケーションスペースとして開放(こども)(再掲④⑬)

事務室を開放しているのでこどもたちのコミュニケーションスペースになっています。家庭・学校・友だちのことなど話してくれます。また進路相談・恋愛相談・両親の相談をしにきてくれる子もいます。必要に応じ、学校やエールに情報共有していきます。児童館がこれからも子どもたちの居場所であり続けるよう努めていきます。今後も配慮を要するこどもたちを長期的に見ていき、その子が成長できるよう、職員は今以上に意識してこどもたちを支援していきます。

- ・他施設の事例研究

当事業団が管理する児童館・児童センター9館の所長会で、他施設で実際に起きた事例を研究し、配慮を必要とする子どもが利用された際、どの施設でも適切に対応できるようにしました。

移動児童館の実施(仕様書別記4参照)(効果性⑤)

- ・日光児童センター: 則武小、早田小、城西小、島小、鷺山小の5地区
- ・実施回数: 12回(うち未設置地区: 5回(城西2回、島1回、鷺山2回))
- ・当法人内のワークサポートあおやぎ(本郷地区)のクリスマス会に参加し、カレンダー作りを実施しました。障がい者の方と触れ合う機会がもて良かった(再掲⑤⑮)
- ※赤ちゃんクラブは場所は則武ですが、則武・早田・城西・島の4校区が共催して行っています—4回

利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施(効果性⑤)

- ・団体利用(再掲⑤⑥⑭)
- ・今期も「GIFUシングルマザー&ファザーのホットサロン」の会が隣接するコミュニティーセンターで行われました。ひとり親 cheers の方たちが団体利用で児童館を利用し、こどもたちを預かってみえました。「ここは、こどももスタッフも安

心できる場所なのでとても助かります。」と喜ばれていました。

- ・ひとり親 cheers－3回
- ・すずらん日光保育園－3回
- ・光陽福祉会
- ・放課後等デイサービス「HOMEBASE」－3回
- ・放課後等デイサービス「わん」
- ・エステの託児

子どもたちに関係するいろんな団体の方に利用いただけることで児童センターを知っていただける機会になりました。

- ・コミュニケーション

送迎をされる保護者にあいさつをして話しかけ、コミュニケーションを取ることを心がけました。また帰宅時は職員が外にでて、子どもたちが道路へ飛び出さないよう送りだすようにしました。気さくに話をしてくださる方が増え、「安心して子どもを遊ばせられます」と言われる保護者の方が何人も見えました。

- ・幼児クラブの在り方を見直し改善(③⑤⑥)
- ・ベビータイムに保健師さん参加(再掲③⑤⑥⑬)
- ・インスタグラムによる広報宣伝活動(再掲②⑤⑥)
- ・第3駐車場の使用(③⑤)
- ・おみやげコーナーの充実(③⑤⑭)
- ・人気のある小学生行事の開催(再掲③⑤⑥)

利用促進や利用者増に繋がる方策の実施(効果性⑥)

- ・幼児クラブ申し込み連携

登録制幼児クラブで定員を上回る応募があり、残念ながら抽選に漏れてしまった方に対して、他館の幼児クラブに空きがある場合、幼児クラブを紹介できる体制を構築しました。

- ・幼児クラブの在り方を見直し改善(再掲③⑤⑥)
- ・団体利用(再掲⑤⑥⑭)
- ・大人のボランティアの存在(再掲⑥⑦)

日光児童センターに定期的に来ていただいている大人のボランティアの方々が見えます。この方たちは行事を企画したり、お手伝いをしてくれたりすることはもちろん、普段の子どもたちの遊び相手になってくれます。勉強・恋愛・学校のことなど親身に話をきいてくれ、掃除・片付けなども手伝ってくれます。それぞれの特技を生かして行事を企画し、子どもをそのまま受け止めてくれます。日光児童センターのスタッフとして大きな存在であり、小学生・中学生からも大人気です。職員とは違う素敵な大人がたくさんいることはいろんな人に関わる経験もでき、いろんな遊びを教えてもらえるしとにかく楽しい！職員だけでなく、いろんな素敵な人たちと関わられるような体制を今後も取っていきたい。

- ・子どもたちの主体性を生かした新規事業の開催(再掲③⑥)

- ・小学生・中学生・高校生スタッフの存在(再掲⑥⑦)

児童センターにいつも来ている小学生・また小さいころから児童センターを利用して中学生・高校生がボランティアとして行事を行ってくれたり、子どもの遊び相手になってくれたり、おもちゃなどの貸し出し、ぬりえを渡してくれるなど、子どもスタッフとしてたくさんの仕事をしてくれます。職員だけでは手が回らない時など助けてくれます。児童センターのスタッフとして大きな存在です。

- ・講師

職員でできない分野は講師のお力をお借りし、子どもたちにいろんな体験をしてもらえるように、またいろんな人に関わって視野を広げてほしいので企画しました。

- ・ベビータイムに保健師さん参加(再掲③⑤⑥⑬)
- ・人気のある小学生行事の開催(再掲③⑥)
- ・お話を語る会(講師)(再掲③⑥⑭)
- ・地域の方に勉強を教えてもらおう－12回(地域講師)(再掲③⑥⑭)
- ・えりちゃんの工作教室－6回(地域講師)(③⑥⑭)
- ・レジンでミニミニキーホルダーを作ろう(地域講師)(再掲③⑥⑭)
- ・将棋で遊ぼうの開催(地域ボランティア)(再掲③⑥⑭⑮)
- ・パパのための救命講習(再掲③⑥⑬)
- ・赤ちゃんのためのベビーサイン(講師)(再掲③⑥⑭)
- ・幼児とのふれあい遊び－2回(講師)(再掲③⑥⑭)
- ・お母さんのためのからだのセルフケア(地域講師)(再掲③⑥⑭)
- ・ドライヘッドリラクゼーション－2回(地域講師)(再掲③⑥⑭)
- ・幼児リトミッカー2回 赤ちゃんのためのリトミッカー1回(地域講師)(再掲③⑥⑭)
- ・赤ちゃんのための救命講習(再掲③⑥⑬)
- ・岐阜高校のお兄さんお姉さんに勉強を教えてもらおう－4回(地域ボランティア)(再掲③⑥⑭)
- ・岐阜聖徳大学「かっぱの会」のお兄さんやお姉さんと一緒に遊ぼう(③⑥⑭)
- ・インスタグラムによる広報宣伝活動(再掲②⑤⑥)・「ツナグテ」利用者へのPR(再掲②⑥)
- ・全児童館・児童センターの案内をおたよりに掲載(再掲②⑥)

過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制(効果性⑦)

- ・常勤職員3名を配置。
- ・週2日出勤の職員を1名配置。
- ・当事業団事務局職員2名が応援要員として対応可能です。
- ・児童館での事務仕事の一部を事務局で対応することで、現場職員の負担を軽減し、利用者対応に集中できます。
- ・大人のボランティアスタッフの存在(再掲⑥⑦)
- ・日曜日バイト

月2回ほど日曜日に大学生がアルバイトで来てくれます。子どもの遊び相手はもちろん、行事も行ってくれます。またお兄さんなので子どもたちからは大人気です。女性職員では出来ないダイナミックな遊びをしてくれ、若いので子どもたちと距離も近く話し相手にもなってくれます。貴重な存在です。

- ・小学生・中学生・高校生スタッフの存在(再掲⑥⑦)
 - ・母親クラブの協力
- 行事・おまつりなどさまざまな活動に協力いただいています。児童センターのスタッフとして大きな存在です。
- ・あきまつり
 - ・ミニミニはるまつり
 - ・幼児クラブのお手伝いー4回
 - ・将棋で遊ぼう

職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加(安定性・安全性⑫)

- ・不審者対策研修会
- 11月27日:西児童センター 講師:岐阜中警察署員
- ・子どもにおける外傷対応の基礎知識研修会
- 1月20日:岐阜大学看護学科講義室 講師:岐阜大学医学部教授 内容:児童館利用時のこどもの擦り傷・切り傷をはじめ適切な初期対応方法
- ・読み聞かせ研修会(再掲⑫⑬)
- 1月22日:ドリームシアター 講師:メディコス司書
- ・子どもの人権研修会
- 2月26日:事務局 講師:岐阜市役所人権啓発センター職員
- ・療育実習
- 1月30日~2月18日の間の5日間:岐阜市立恵光学園 講師:恵光学園職員
- ・スキルアップ研修会
- 10月29日:柳津児童館 内容:0歳児向けクラブの内容
- 11月6日:東児童センター 内容:小学生向けのすぐに生かせる工作
- ・事業団研修会
- 11月:オンライン研修会 内容:サイバーセキュリティ
- 1月:虐待研修会:事務局 岐阜県障がい権利擁護センター センター長
- 2月~3月 WEB 研修 内容:危機管理(BCP)・感染症対策研修会
- ・他施設研修会
- 自館の職員が、西児童センター(1名)サンフレンドうずら児童センター(1名)で幼児クラブや利用者対応などについて学びました。

危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備(安定性・安全性⑬)

- ・災害対策マニュアル 危機管理マニュアル
- ・不審者対応マニュアル 地震防災マニュアル
- ・緊急地震速報受信時対応マニュアル
- ・病害虫防除マニュアル 食中毒・感染症等対応マニュアル
- ・社会福祉施設避難確保計画(対象災害:水害(洪水))
- ・安全計画
- ・業務継続計画(自然災害編、感染症発生時編)

リスク防止策の実践(安定性・安全性⑬)

- ・業務継続計画(BCP)の作成と運用
- 感染症(新型コロナ感染症等)感染者が施設内で発生した場合。また、自然災害(大規模地震や洪水等)が発生した場合に施設職員がとるべき行動を定めるとともに、平時から円滑に実行できる準備を定めた業務継続計画の感染症発生時編と自然災害編を作成し、運用を始めました。
- ・虐待防止委員会の開催
- 当事業団児童館・児童センター所長9名による虐待防止委員会児童部門を開催。虐待防止に向けた対応策について研究しました。
- ・虐待防止研修会の開催(再掲⑫⑬)
 - ・消防訓練の実施2回(合同1回、単独1回)
- 日光児童センターはコミュニティーセンター・日光事務所との複合施設であることから、合同でも消防訓練を実施しています。火災の際の避難誘導をより迅速・的確に行う必要があり、職員一人ひとりの日頃の準備が大切です。
- ・電子メールの誤送信対策の徹底
- 日光児童センターでは、メールアドレスを他者に漏洩することがないように電子メールを使用して一斉配信をする際は、自動的にBCCに変換できるソフトを導入し、対策しています。
- ・衝突・転倒の危険性の対策
- 角のある机や各部屋のドアなどにクッションマットを取り付け対策しています。
- ・パパのための救命講習(再掲③⑥⑬)
 - ・赤ちゃんのための救命講習(再掲③⑥⑬)
 - ・ベビータイムに保健師参加(再掲③⑤⑥⑬)
 - ・子ども居場所づくりの推進(再掲④⑬⑭)
 - ・サードプレイスとしての活用(再掲④⑬⑭)
 - ・学校との連携(再掲④⑬⑭)
 - ・事務室をコミュニケーションスペースとして開放(子ども)(再掲④⑬)
 - ・子ども110番の家の登録(再掲⑬⑮)
- 子どもが助けを求めた際、その子どもを保護し、必要により警察、学校、家庭などへ連絡するなど、地域ぐるみで子どもたちの安全を守るため、子ども110番の家に登録しています。
- ・その他
- 職員による施設の安全点検毎日実施 おもちゃ点検を毎月実施しました。

	<p>AED 点検毎月2回実施 消防設備等点検を実施 コロナ感染等により、施設職員が一定期間出勤できない状況が起きた際でも、施設業務に支障がないよう、事務局職員や他児童館職員が応援できる体制としました。</p> <p>地元の諸団体との連携、交流(貢献性⑭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児クラブにフリースペースの生徒・高校生参加(再掲③④⑭⑮) ・岐阜清流中学校のけやきクラスの子の居場所-25回(再掲④⑭) ・すずらん日光保育園と交流ができ児童センターを利用したり、はるまつりに参加 ・こどもの居場所づくりの推進(再掲④⑬⑭) ・第2回・第3回 則武小学校学校運営協議会に参加(再掲②④⑭⑮) ・第2回・第3回 岐阜清流中学校運営協議会・支援推進委員会に参加(再掲②④⑭⑮) ・城西フェスティバルに参加(②⑭⑮) ・ミニミニはるまつり母親クラブ共催(地域ボランティア)(岐阜清流中学校フリースペース)(高校生)(岐阜中部学院大学生)(再掲②③⑭⑮) ・サードプレイスとしての活用(再掲④⑬⑭) ・学校との連携(再掲④⑬⑭) ・主任児童委員と情報共有 ・団体利用(再掲⑤⑥⑭) ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用(貢献性⑭) ・施設清掃 <p>当法人内の就労継続支援B型事業所による施設清掃を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えりちゃんの工作教室-6回(地域講師)(③⑥⑭) ・地域の方に勉強を覚えてもらおう-12回(地域講師)(③⑥⑭) ・レジンでミニミニキーホルダーを作ろう(地域講師)(③⑥⑭) ・おもちゃ病院(再掲⑨⑭) ・将棋で遊ぼうの開催(地域ボランティア)(再掲③⑥⑭) ・お話を語る会(講師)(再掲③⑥⑭) ・赤ちゃんのためのベビーサイン(講師)(再掲③⑥⑭) ・幼児とのふれあい遊び-2回(講師)(再掲③⑥⑭) ・お母さんのためのからだのセルフケア(地域講師)(再掲③⑥⑭) ・ドライヘッドリラクゼーション-2回(地域講師)(再掲③⑥⑭) ・幼児リトミック-2回 赤ちゃんのためのリトミック-1回(地域講師)(再掲③⑥⑭) ・岐阜高校のお兄さんお姉さんに勉強を覚えてもらおう4回(地域ボランティア)(再掲③⑥⑭) ・岐阜聖徳大学「かっぱの会」のお兄さんやお姉さんと一緒に遊ぼう(③⑥⑭) ・おみやげコーナーの充実(③⑤⑭) <p>地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)(貢献性⑮)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回・第3回 則武小学校学校運営協議会に参加(再掲②④⑭⑮) ・第2回・第3回 岐阜清流中学校運営協議会・支援推進委員会に参加(再掲②④⑭⑮) ・岐阜清流中学校・則武小学校の卒業式に参加 ・岐阜版アダプトプログラムへの参加 <p>職員が児童館周辺道路の清掃活動を定期的実施する、岐阜版アダプトプログラムに参加しています。清掃活動は、毎週土曜日の朝全職員で実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども110番の家の登録(再掲⑬⑮) <p>地元の団体・住民との協働事業等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜清流中学校の職場体験学習の生徒の受け入れ 児童センターの役割を学び幼児クラブに参加し体験する。 ・岐阜清流中学校3年生との交流 家庭科学習の一環。幼児とのふれあい活動を通して幼児への理解を深める。 ・中部学院大学実習生の受け入れ-7人 児童館の役割や児童厚生員の仕事を理解する。 ・グループホーム・小規模多機能「ふるさと」・柴橋市長・読み語りルンルン 児童センターの交流事業(再掲②③⑥⑮) ・城西フェスティバルに参加(②⑭⑮) ・ミニミニはるまつり母親クラブ共催(地域ボランティア)(岐阜清流中学校フリースペース)(高校生)(岐阜中部学院大学生)(②③⑭⑮) ・城西小学校2年生生活学習地域の公共施設の見学(②⑮) ・則武小学校2年生生活学習地域の公共施設の見学(②⑮) ・幼児クラブにフリースペースの生徒・高校生参加(再掲③④⑭⑮) ・親子ふれあい教室への開催協力 則武地区・城西地区・早田地区・島地区の親子ふれあい教室に移動児童館として訪問し、職員によるさまざまな遊びを体験していただきました。 ・あきまつり(母親クラブ共催)(再掲②⑮) ・当法人内のワークサポートあおやぎのクリスマス会に参加(再掲⑤⑮)
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>○則武小、岐阜清流中のコミュニティスクール学校運営委員会に委員として携わるにより、地域とのつながりが深まるとともに地域の人に児童館を広く知ってもらい取り組みができています。 →ありがとうございます。委員の皆さんに児童センターを知ってもらえる機会になりました。また学校運営に携わり、地域との連携がこどもたちを育むためにとても大切だということを改めて思いました。児童センターはこどもたちの大切な</p>

	<p>居場所であることを認めてもらえているので、これからも役割をしっかりと果たせるよう取り組んで参ります。</p> <p>○お話を語る会を 11:00～11:30 と 16:00～16:30 に開催し、幼児も小学生も絵本に触れ合う時間を持つようになっている。また、小学生にも絵本を読んでもらう取り組みは評価できる。</p> <p>→ありがとうございます。幼児、小学生、保護者などたくさんの方が絵本に触れ、読み語りの大切さが伝わることを願い取り組みました。また小学生が幼児に読み聞かせを行ったり、今期は施設に出向き読み語りの先生、市長さんと一緒にお年寄りの皆さんに絵本を読むことができ、子どもたちの成長を感じました。地域のつながりにも貢献できとても素晴らしい事業になりました。今後も読み語りの大切さを伝えて参ります。</p> <p>○こども館長や遊び係長などの役職をつくるなど、こどもが参画できる仕組みを設けている点は評価できる。</p> <p>→ありがとうございます。こどもはとても素敵な力を持っています。これからも子どもたちが主体的に活躍でき主役になれる場をたくさん作っていただけるよう取り組んで参ります。</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>□居場所作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配慮を必要とする児童生徒を受け止め、支援の一端を担っていきます。自立を目指せるような対応や環境作り、周囲との連携を固め居場所や安心感のある児童館を目指します。また各種関係機関との繋がりを強め、体制を強化していきます。 こどもたちを始め地域の皆さんが安心してありのままの自分でいられるような居場所づくりを務めて参ります。 <p>□地域を大事にした活動を進める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在も母親クラブの方々が子どもたちの活動の企画・準備・運営をしてくださっています。来期も子どもたちのために何かをしてあげたいという地域の方々が児童館で活動していただけるよう取り組んでいきます。 <p>□初めて来館した母親への支援を重視する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の世代の母親や家族に合った子育てに関する情報を職員が勉強しておき、0歳から就園に至るまで長期的に利用してもらえるような支援を目指します。 <p>□ボランティア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自主的にお手伝いなどをやりたいという気持ちを受け止め尊重することを日常的に取り組み、主体的に施設運営に携わっているという意識が持てるように取り組んでいきます。 ・子どもスタッフを立ち上げ行事を企画したり、おまつりなどのお手伝いをお願いしていきます。 <p>ボランティア・子ども・地域みんなで児童館を盛り上げていただけるよう取り組んでいきます。</p> <p>□学習支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強が苦手・不登校・不登校気味・塾に通えない等さまざまな理由で勉強に対しての意欲がない児童が増えていますが、でも高校には行きたいという思いはありますのでその気持ちに寄り添っていきたくと思います。今期も大学の学生や地域の方に依頼し勉強を見てもらう行事を実施します。行事だけでなく子どもたちが目標をもてるような学習支援の在り方を考え取り組んで行きたいと思えます。 <p>□職員研修会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今期も職員スキルアップ研修会を充実させ、幼児向け・小学生向け工作や遊びのメニュー講座などを開催し、職員の事業実施力の向上に努めます。 <p>また、外部講師による研修会、虐待防止研修会を開催し、リスク対応力を強化します。</p> <p>□広報宣伝活動の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インスタグラムによる広報宣伝活動を開始し。特に乳幼児を持つお母さん方への広報宣伝活動を強化します。

●所管課の意見

○利用者アンケートを児童用と保護者用それぞれ 100 名から実施し、得られた意見を真摯に受け止め、サービス改善に活かすことで、利用者のニーズに決め細かく応えている。

○こども副館長、こども遊び係長が中心となって日曜バイトの先生の卒業式を行うなど、子どものやりたいことを尊重し「主体性」を大切にしている。

○小中学校の運営協議会へ積極的に参加するとともに、配慮が必要な児童の状況について教職員と適切に情報共有を行うなど、子どもの安心できる居場所づくりの推進が図られている。

●指定管理者評価委員会の意見

○中学生・高校生のサードプレイスとして利用されている点について、子どもにとって、学校とは異なる環境で過ごせるというのは、心の安定や社会性の育成にもつながるため、非常に重要な取り組みとして評価できる。